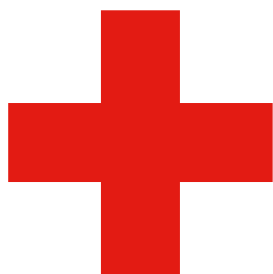




平成28年度 事業報告



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

香川県支部



人間を救うのは、人間だ。

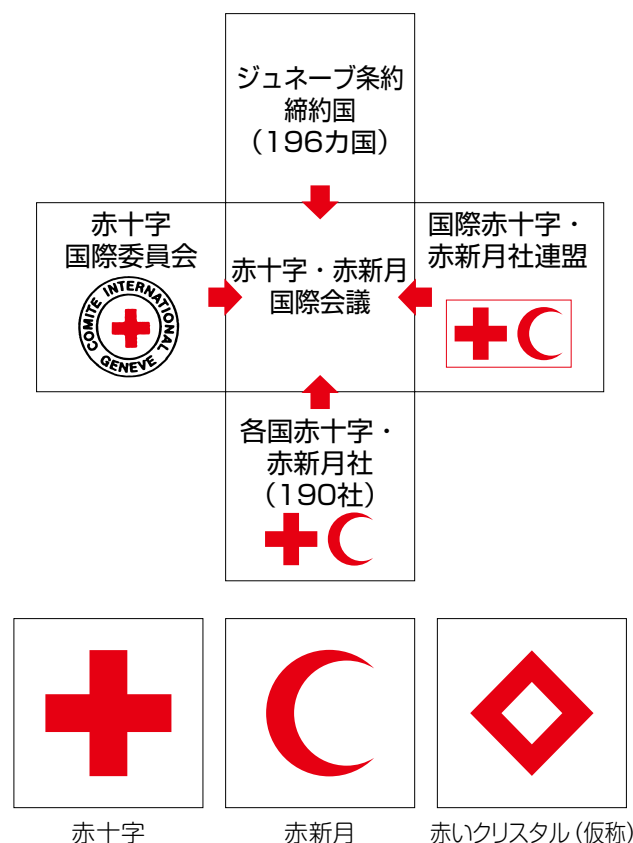
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカステリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動 の基本原則

(第20回赤十字国際会議(1965年、ウィーン)決議第8
(改正:第25回赤十字国際会議(1986年、ジュネーブ)決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人 道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公 平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中 立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独 立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世 界 性

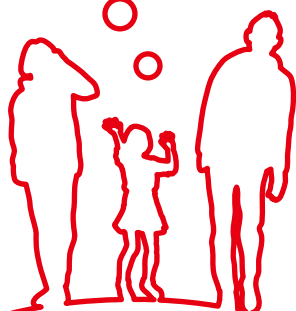
赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。



CONTENTS



1	全 国 赤 十 字 大 会	1
2	赤十字社員と社資の状況	1
3	災 害 救 護	1
4	国 際 活 動	8
5	救 急 法 等 の 講 習	9
6	赤 十 字 奉 仕 団	14
7	青 少 年 赤 十 字	18
8	医 療 事 業	22
9	血 液 事 業	24
10	赤 十 字 思 想 の 普 及	25
11	香 川 県 赤 十 字 有 功 会	27
12	評 議 員 会	27
13	決 算 概 要	28



1

全国赤十字大会



平成28年度の全国赤十字大会は、平成28年5月11日に開催される予定でしたが、熊本地震発生により緊急の救護活動を最優先とし、全社的に取り組むため中止しました。

2

赤十字社員と社資の状況



「社員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、毎年一定額を活動資金として納めてくださる方のことです。
「日本赤十字社は、社員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの社員によって支えられています。平成28年度においても、「人間を救うのは人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字社員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で社員増強運動を展開しました。

社員の状況

社資募集の実績状況

年 度	社 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計社員数
平成24年度	109,552	2,864	112,416
平成25年度	95,490	2,752	98,242
平成26年度	93,705	2,661	96,366
平成27年度	92,093	2,562	94,655
平成28年度	83,453	2,623	86,076

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
平成24年度	125,487,744	16,649,392	142,137,136	156,000,000
平成25年度	126,345,465	17,697,731	144,043,196	156,000,000
平成26年度	154,098,763	17,283,645	171,382,408	146,000,000
平成27年度	174,926,631	16,267,988	191,194,619	146,000,000
平成28年度	126,529,549	30,188,592	156,718,141	146,000,000

※平成29年度から「社員・社費」が「会員・会費」になります。

3

災害救護



災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などを実施し、医療救護活動の万全に努めるとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

● 救 護 班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣することとしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は次のとおりです。

救護班の編成（1班6人編成8個班）

（単位／人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	主 事	計
1個班の編成基準		1	1	2	2	6
常 備 要 員 数		8	8	16	16	48

※必要に応じて、薬剤師・助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員として3人を任命しています。

dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位／人）

区分	職種	医 師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主 事	計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常 備 要 員 数		8	8	16	4	4	16	56

※医師の内1人がチームリーダー、主事の内1人がサブリーダーとなります。





災害救護活動

平成 28 年熊本地震対応

4 月に発生した熊本地震災害は、2 度にわたり最大震度 7 を記録し、熊本地方を中心に大きな被害が発生しました。日本赤十字社では、本社、全支部総力をあけて災害発生直後から速やかに医療救護班を派遣し、その後も刻々と変化する医療ニーズに対して、こころのケア活動や避難所健康支援活動を実施するなど、急性期から 3 か月半にわたって活動を展開し、地元医療機関等へ引き継ぎを行いました。

また、災害拠点病院である熊本赤十字病院へ医師・看護師を派遣し、被災地の医療体制の機能維持を支援しました。

さらには、救援物資の配送や義援金の受付等、被災者の救護に全力を尽くしました。

①地震情報

平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分 マグニチュード 6.5 震度 7 (益城町)

平成 28 年 4 月 16 日 1 時 25 分 マグニチュード 7.3 震度 7 (益城町、西原村)

②救護班の派遣状況

○dERU チーム第 1 班

救護班員 16 人 (医師 2 人、看護師長 2 人、看護師 4 人、薬剤師 1 人、主事 6 人、防災ボランティア 1 人)

派遣日時 4 月 16 日(土)～4 月 19 日(火)

活動場所 熊本市南区避難所でアセスメント・巡回診療

患者数 6 人

○救護班第 2 班

救護班員 12 人 (医師 2 人、看護師長 1 人、看護師 1 人、薬剤師 1 人、助産師 1 人、放射線技師 1 人、主事 3 人、防災ボランティア 2 人)

派遣日時 4 月 20 日(水)～4 月 25 日(月)

活動場所 益城町総合体育館救護所 (兵庫県支部 dERU 内で診療活動)

患者数 192 人

○救護班第 3 班

救護班員 13 人 (医師 2 人、看護師長 1 人、看護師 2 人、薬剤師 1 人、主事 5 人、防災ボランティア 2 人)

派遣日時 5 月 2 日(月)～5 月 6 日(金)

活動場所 益城町総合体育館救護所 (兵庫県支部 dERU 内で診療活動)

患者数 40 人

○救護班第 4 班

救護班員 9 人 (医師 2 人、看護師長 1 人、看護師 1 人、薬剤師 1 人、助産師 1 人、主事 3 人)

派遣日時 5 月 14 日(土)～5 月 18 日(水)

活動場所 益城町総合体育館救護所 (兵庫県支部 dERU 内で診療活動)

患者数 81 人

○こころのケアチーム

救護班員 5 人 (臨床心理士 1 人、健康生活支援講習指導員 2 人、看護師 1 人、主事 1 人)

派遣日時 6 月 8 日(水)～6 月 14 日(火)

活動場所 西原村役場、西原村山河の館

患者数 75 人

③熊本赤十字病院支援

4 月 20 日(水)～5 月 12 日(木)の間、医師 2 人・看護師 4 人を派遣

④救援物資の配送状況

4 月 16 日(土) 熊本県支部に送付 安眠セット 1,000 個





救護員に対する研修の実施

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月13日(水)	任命赤十字救護員	52	高松赤十字病院	
任命救護員研修会	4月13日(水)	任命赤十字救護員	52	高松赤十字病院	国内型緊急対応ユニットdERUについて
支部・施設合同救護員主事対象研修会	6月16日(木)	赤十字救護員主事	9	香川県青年センター	無線機の設置、救護所の設営、発電機の取扱い、災害時の記録、救護に必要な技術の習得
こころのケア研修会	7月20日(水)	赤十字救護員	25	高松赤十字病院	講義「日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア」、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	第1回 9月16日(金)	赤十字救護員	32	高松赤十字病院	講義「救護員の具体的任務について」、グループワーク、災害発生から出動まで机上シミュレーション、トリアージについて 応急手当、無線交信
	第2回 10月18日(火)	赤十字救護員	33	香川県青年センター	基礎行動、救護所開設、救護シミュレーション、担架操法、無線交信、エアテント等救護資機材点検・操作訓練





国内型緊急対応ユニット dERU（大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できる自己完結型の緊急仮設診療所）操作研修の実施

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員実践研修会	8月16日(火)	赤十字救護員	37	香川県青年センター	救護員としてdERUについて理解する（学科研修、グループワーク、dERU展開実習、エアーテント等救護資機材操作訓練）

平成28年度日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練参加

- ・日 時 平成28年11月12日(土) 8:00～17:00
平成28年11月13日(日) 9:00～13:00
- ・場 所 徳島市川内町旭野運動公園
- ・参 加 者 日本赤十字社中国・四国各県支部救護員 16人
日本赤十字社香川県支部救護員
香川県赤十字防災ボランティア 2人

訓練内容

(1日目)

(1) 初動訓練

1. 災害情報収集・伝達
2. 各県支部への応援要請
3. 支部災害救護実施対策本部等運営訓練

(2) 参集訓練・到着報告

1. 各県支部救護班の集結
2. 無線を活用した通信訓練

(3) 救護所開設訓練

1. 中国・四国各県支部救護班による救護所開設

(4) 机上シミュレーション

1. 本部
2. 医療救護
3. 薬剤師拠点
4. こころのケアセンター
5. 赤十字防災ボランティアセンター

(2日目)

(1) 医療救護訓練

(2) 救助・救出・搬送

(3) こころのケアセンター活動訓練

(4) 薬剤運用訓練

(5) 赤十字奉仕団等活動訓練

1. 赤十字防災ボランティアセンターの立ち上げ
2. 実動訓練(避難所支援・救護活動支援)





■ 他機関の実施する災害救護訓練への参加

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
香川県総合防災訓練	9月4日(日)	赤十字救護員	—	東かがわ市 とらまる公園	台風接近により訓練中止
高松空港航空機事故対応 総合訓練	10月20日(木)	赤十字救護員	7	高松空港	通信訓練、トリアージ、応急医療、 負傷者搬送、無線交信
香川県石油コンビナート 総合防災訓練	11月15日(火)	赤十字救護員	11	三菱化学株式会社 坂出事業所	救護所開設、トリアージ、応急医療、 負傷者搬送、無線交信
高松海上保安部旅客船 事故対応訓練	1月19日(木)	赤十字救護員	9	高松港C地区	救護所開設、応急医療、無線交信

● 赤十字防災ボランティア活動状況

訓練・研修等に参加して災害救護活動のノウハウを習得し災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）に参加しました。

■ 香川県赤十字防災ボランティア活動状況

①登録人員（団体） 217人（個人登録） 6団体（団体登録）

②赤十字防災ボランティア基礎研修会

- ・日 時 平成28年7月28日(木) 10:00～15:00
- ・場 所 日赤香川県支部 香川県赤十字血液センター
- ・参 加 者 赤十字防災ボランティア 20人
- ・研修内容 赤十字について、献血について、災害救護装備、
支部倉庫見学、非常食の炊き出し、
災害に役立つ応急手当



■「赤十字のつどい ～赤十字非常食炊き出しコンテスト～」の開催

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から6年の節目を迎えるにあたり、災害の記憶を風化させぬよう、県民の防災・減災意識の高揚と災害時におけるボランティア活動を広く一般にアピールすることを目的に次のとおり開催しました。

また今回は親子連れを対象とした会場であることから、若年層から幅広い世代に対して「復興」・「防災」という2つの柱を赤十字とリンクさせながら、効果的な広報を推進していくことを目的として実施し、災害への備えを考える機会としました。

- ・日 時 平成29年3月11日(土) 10:00～15:00
- ・場 所 さぬきこどもの国(高松市香南町)
- ・内 容
 - ・非常食炊き出しコンテスト実施
 - ・東日本大震災救護活動等の写真展示
 - ・東日本大震災発生時刻14:46に黙祷
- ・参加者 赤十字ボランティア等 180人
一般来場者 約3,000人

当日の東日本大震災義援金は、合計64,581円となりました。これらは全額、東日本大震災義援金として被災県に送金させていただきました。



● 臨時救護

第17回香川県障害者スポーツ大会等4か所に救護員等延べ18人を派遣し、負傷者10人の手当てをしました。

- ・第45回幼稚園まつり
- ・津田の松原 海水浴場
- ・第17回香川県障害者スポーツ大会
- ・第30回高松冬のまつり(救急箱貸出)



● 災害等による被災者の援護

公益財団法人 JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他、支部独自で毛布、バスタオル、ブルーシートなど救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、赤十字応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。



緊急セット [1世帯(4人分)]

- ・タオル
- ・歯ブラシ
- ・軍手
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点

■ 災害救援物資の備蓄状況 (平成29年3月31日現在)

品名	地区別	27年度繰越数	本年度増減数				28年度末備蓄数		備蓄場所	
			本社から受入	管理換え	配分数	転用			支部	地区等
毛布(枚)		2,039	3,000	—	96	200	4,743	4,251	492	
緊急セット(個)		1,201	—	—	48	6	1,147	1,050	97	
安眠セット(個)		1,337	1,002	1,000	—	6	1,333	1,296	37	
バスタオル(枚)		872	—	—	—	—	872	700	172	
ブルーシート(枚)		623	—	—	—	—	623	600	23	



安眠セット

- ・マット
- ・スリッパ
- ・耳栓
- ・アイマスク
- ・枕
- ・靴下

■ 火災等の被災者並びに避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布(枚)		25	9	0	10	4	0	18	3	1	0	26	96
緊急セット(個)		12	4	0	2	2	0	3	4	2	0	19	48
安眠セット(個)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

■ 火災等の被災世帯並びに同災害による死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		220	60	0	60	60	0	60	20	40	0	180	700
弔慰金		0	0	0	40	20	0	40	0	0	0	0	100
中国帰国者見舞金		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		220	60	0	100	80	0	100	20	40	0	180	800

● 災害義援金の取扱状況

東日本大震災や熊本で発生した地震などの災害に対し県民のみならず多額の義援金が寄せられました。

東日本大震災義援金	(81件)	1,325,535円
平成28年熊本地震災害義援金	(849件)	107,210,615円
平成28年台風10号災害義援金	(11件)	259,518円
平成28年鳥取地震災害義援金	(20件)	459,740円
平成28年糸魚川市大規模火事災害義援金	(11件)	418,166円
(計)	(972件)	109,673,574円
※東日本大震災義援金当初からの累計	(14,231件)	1,642,679,319円





日本赤十字社は、世界190の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」及び災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本社が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

● 国際救援

■ 国際救援金の取扱い状況

「NHK海外たすけあい」募金	(275件)	3,833,083円
2016年イタリア中部地震救援金	(3件)	119,395円
2016年ハイチハリケーン救援金	(2件)	67,624円
2016年エクアドル地震救援金	(4件)	221,108円
(合計)	(284件)	4,241,210円



● 「海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、平成28年12月3日(土)に、イオンモール高松、ゆめタウン高松、高松丸亀町老番街前ドーム広場の高松市内3カ所において、青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月1日(木)にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

● オープニングセレモニー

【青少年赤十字加盟校】

高松市立川岡幼稚園

● 街頭募金参加団体

【青少年赤十字加盟校】

高松市下笠居こども園

高松市立高松第一小学校

高松市立下笠居小学校

高松市立桜町中学校

高松市立高松第一中学校

高松市立勝賀中学校

高松市立太田中学校

高松市立木太中学校

【赤十字奉仕団】

高松市赤十字奉仕団

穴吹学園学生赤十字奉仕団

香川県青年赤十字奉仕団

香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団

香川短期大学学生赤十字奉仕団

四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団

【その他】

久光製薬株式会社高松支店



■ 「アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業」

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開出来るよう、「給水・衛生キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っております。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

「アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業」資金の拠出
(中国・四国各県支部共同事業拠出総額) 718,476円
7,000,000円



バングラデシュに配備された
給水・衛生災害対応キット (写真は浄水装置)



赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。
当支部では平成28年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

● 救 急 法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

■ 救急員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学校 看護学科2年生	65	65
穴吹パティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科1年生他	20	18
香川看護専門学校 第1・2看護学科2年生	83	83
香川県警察学校 初任科第86期長期生	37	37
香川県警察学校 初任科第86期短期生	25	25
香川県立香川中央高等学校 スポーツ科学コース2年生	30	28
香川県立高松南高等学校 看護科2年生	34	34
香川県立高松南高等学校 福祉科1年生	29	29
香川短期大学 生活介護福祉専攻2年生・専攻科1年生	28	23
四国医療専門学校 柔道整復学科1部2学年生	32	29
四国医療福祉専門学校 介護福祉学科1年生・臨床工学学科2年生	36	31
四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護専門学校 看護科2年生	73	73
四国学院大学専門学校	32	21
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	24	24
支部主催教室（土日）（2回）	99	94
支部主催教室（夜間）（1回）	16	15
高松赤十字病院	18	18
藤井学園寒川高等学校	17	17
計19回	698	568

■ 基礎講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
英明高等学校	25	17
大倉工業株式会社	36	36
香川県サッカー協会	47	47
香川県柔道整復師会	51	51
香川県歯科医師会（2回）	85	85
支部主催教室（2回）	47	47
その他、支部主催教室等含（22回）	751	750
計30回	1,042	1,033

■ 資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室（2回）	49	49
計2回	49	49



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
藍野大学短期大学部	109
穴吹ハウジングサービス	15
一ノ谷スポーツクラブ	30
今治造船株式会社丸亀事業本部	49
宇多津町自治会連合会（6回）	300
宇多津町立宇多津小学校	35
雲辺寺スノーアカデミー	40
英明高等学校（6回）	569
香川県大手前中学・高等学校（2回）	135
香川県危機管理総局危機管理課	10
香川県教育委員会	70
香川県教育委員会保健体育課	25
香川県教育センター（2回）	45
香川県勤労者山岳連盟	70
香川県警察本部（2回）	60
香川県県税事務所	25
香川県交通安全協会（3回）	85
香川県高等学校教育研究会香川部会	50
かがわ健康福祉機構	17
香川県社会福祉協議会	16
香川県障害者支援施設たまも園	40
香川県障がい者スポーツ指導者協議会	15
香川県誠陵中学校・高等学校	50
香川県地区小型船安全協会	40
香川県中讃保健福祉事務所	40
香川県藤井中・高等学校	62
香川県立香川西部養護学校	65
香川県立香川中央高等学校	45
香川県立香川中部養護学校	90
香川県立香川東部養護学校	63
香川県立香川丸亀養護学校	130
香川県立笠田高等学校（2回）	120
香川県立川部みどり園	16
香川県立観音寺中央高等学校（2回）	185
香川県立琴平高等学校（2回）	250
香川県立坂出工業高等学校（2回）	80
香川県立坂出高等学校	40
香川県立坂出商業高等学校（3回）	198
香川県立斯道学園	20
香川県立志度高等学校（2回）	138
香川県立善通寺第一高等学校（3回）	240
香川県立善通寺養護学校	100
香川県立高瀬高等学校	198
香川県立高松北中・高等学校	90
香川県立高松工芸高等学校（3回）	252
香川県立高松高等学校（3回）	150
香川県立高松桜井高等学校（5回）	357
香川県立高松商業高等学校	40
香川県立高松東高等学校（4回）	309
香川県立高松南高等学校	50
香川県立高松養護学校（2回）	130
香川県立多度津高等学校（2回）	200
香川県立津田高等学校（2回）	148
香川県立土庄高等学校	40
香川県立丸亀高等学校（5回）	330
香川県立丸亀城西高等学校	30
香川県立三木高等学校	50
香川県立盲学校	46
香川県立聾学校（3回）	73
香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団	19
香川大学（2回）	340
香川大学教育学部附属高松小学校	25

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
香川大学サイクリング部	25
香川労働基準協会（10回）	268
学童クラブゆうか	11
カワイ体育教室	4
川崎重工業株式会社坂出造船工場	80
観音寺市赤十字奉仕団	45
観音寺市立大野原中学校（2回）	101
観音寺市立観音寺中学校（2回）	122
観音寺市立豊田小学校	150
観音寺市立豊浜中学校	63
救護施設清水園	30
坂出市川津地区社会福祉協議会	30
坂出市赤十字奉仕団川津分団	20
坂出自動車学校	30
坂出商工会議所青年部楽市楽座実行委員会	30
坂出市立加茂小学校（2回）	85
坂出市立東部中学校	279
さぬき市PTA母親委員会	20
さぬき市赤十字奉仕団造田分団（7回）	105
さぬき市赤十字奉仕団長尾分団	38
さぬき市長尾東町西ノ丁自治会	15
さぬき市立志度中学校（2回）	150
さぬき市立長尾中学校（2回）	106
四国管区警察学校（8回）	406
四国電力株式会社	82
四変テック株式会社	42
社会福祉法人多度津さくら会	15
住宅型有料老人ホームサン・ファミリア伏石	10
障害者支援施設サン未来	9
小豆島町立池田小学校	150
すずかけの径	20
世界救急法デー記念イベント	144
赤十字なんがでっきょん？セミナー（6回）	192
善通寺市防災管理課	60
禅林学園高等学校	50
第47普通科連隊第1中隊	40
高松琴平電気鉄道株式会社（12回）	256
高松市浅野コミュニティセンター	15
高松市円座校区コミュニティ協議会	400
高松市大野コミュニティセンター	12
高松市川添コミュニティセンター	15
高松市教育委員会（2回）	100
高松市赤十字奉仕団	340
高松市赤十字奉仕団太田分団	18
高松市赤十字奉仕団香川分団	60
高松市赤十字奉仕団亀阜分団	35
高松市赤十字奉仕団木太分団	40
高松市赤十字奉仕団多肥分団	60
高松市赤十字奉仕団檀紙分団	80
高松市赤十字奉仕団仏生山分団	40
高松市赤十字奉仕団屋島分団	30
高松市二番丁女性防火クラブ	31
高松市民登山37会	15
高松市立浅野小学校	60
高松市立植田小学校	9
高松市立太田中学校（2回）	260
高松市立香川第一中学校（3回）	188
高松市立勝賀中学校	40
高松市立亀阜小学校	35
高松市立川島小学校	30
高松市立川添小学校	21
高松市立木太小学校（2回）	54

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
高松市立木太中学校 (4回)	253
高松市立木太南小学校	40
高松市立協和中学校 (4回)	233
高松市立香南小学校	16
高松市立香南中学校	91
高松市立桜町中学校 (3回)	280
高松市立下笠居中学校 (2回)	62
高松市立新番丁小学校	40
高松市立高松第一中学校	60
高松市立古高松中学校	35
高松市立前田小学校 PTA	43
高松市立牟礼南小学校	120
高松市立屋島小学校	30
高松市立屋島中学校 (2回)	184
高松市立屋島西小学校	35
高松赤十字病院 (3回)	137
多度津町白方地区児童館	47
多度津町多度津地区児童館	40
多度津町豊原地区児童館	42
多度津町四箇地区児童館	47
デイサービスセンター綾川 (2回)	46
デイサービスセンター春いちばん	23
東讃里山ボランティアガイド	8
特別養護老人ホーム香色苑	30
特別養護老人ホームさんさん荘	35
特別養護老人ホーム白百合荘	20
特別養護老人ホーム白山山荘	30
特別養護老人ホームみき山荘	30
土庄町立豊島小中学校	74
どんぐりネットワーク	15
直島町教育委員会	13
直島町立直島中学校 (2回)	80
直島町子ども会育成連絡協議会	40
日本赤十字社香川県支部 (12回)	606

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
日本ボーイスカウト香川連盟西地区 (2回)	40
東かがわ市社会福祉協議会	19
東かがわ市立大川中学校 (2回)	137
東かがわ市立引田中学校	47
仏生山国際交流会	130
ふなおか園あすなろ会	22
本門佛立宗四国布教区妙泉寺	70
丸亀市教育委員会	26
丸亀市健康福祉部健康課	40
丸亀市飯山北地区コミュニティ協議会	20
丸亀市立城坤小学校	600
まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	88
三木町立氷上小学校	42
三豊市上下水道工事業協同組合	20
三豊市赤十字奉仕団	20
三豊市高瀬町児童館	19
三豊市立詫間中学校 (2回)	107
三豊市立豊中中学校 (4回)	240
三豊市立比地大小学校	40
三豊市立三野津中学校	103
計 302 回	16,645



● 水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「心肺蘇生と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

■ 救助員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
香川県消防学校 消防学生	38	38
支部主催教室 7月コース (プール)	7	7
支部主催教室 10月コース (プール)	5	5
計 3 回	50	50

■ 資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室 (2回)	11	11
計 2 回	11	11



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
香川県水泳協会	14
香川県地区小型船安全協会	40
香川県立香川西部養護学校	70
観音寺市立豊浜小学校 PTA	29
善通寺市立中央小学校 (2回)	82
善通寺市立東部小学校 (3回)	126
高松市スポーツ振興事業団 (3回)	37
高松市多肥校区こどもクラブ育成会 (2回)	80
高松市立植田小学校 (2回)	87
高松市立香西小学校	32
高松市立香南小学校 PTA	32

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
高松市立三溪小学校 (2回)	144
高松市立下笠居小学校	51
高松市立牟礼小学校	54
高松市立牟礼南小学校	76
高松市立屋島小学校 (2回)	152
日本赤十字社香川県支部 (2回)	28
フィットネスクラブレフコ高松店	12
三木町立氷上小学校 (2回)	151
三豊市立下高瀬小学校	57
ループしおのえ	8
計 32 回	1,362

健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
支部主催教室 (2回)	20	17
尽誠学園高等学校 衛生看護科 2年生	27	27
計 3 回	47	44

資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室 (2回)	2	2
計 2 回	2	2



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
香川県看護協会	120
香川県聴覚障害者福祉センター	47
香川県立農業経営高等学校 (4回)	44
株式会社湯口装飾	20
観音寺市大野原中央公民館	30
観音寺市社会福祉協議会 (2回)	45
観音寺市赤十字奉仕団大野原分団	25
坂出市川津地区社会福祉協議会	59
坂出市赤十字奉仕団中央分団	60
坂出市赤十字奉仕団林田分団	60
坂出市林田東梶老人クラブ	68
さぬき市教育委員会	90
さぬき市赤十字奉仕団 (4回)	166
さぬき市赤十字奉仕団大川分団	30
世界救急法デー記念イベント	100
善通寺市健康推進員連合会 (2回)	76
高松市円座西団地自治会	38
高松市木太町婦人学級	30
高松市木太町老人会3世代交流	70
高松市赤十字奉仕団 (2回)	86
高松市赤十字奉仕団多肥分団	30
高松市赤十字奉仕団古高松分団 (2回)	65
高松市赤十字奉仕団松島分団	35
高松市立春日幼稚園	40
高松赤十字病院	50
多度津町社会福祉協議会 (3回)	90
とみおか内科クリニック	15
日本赤十字社香川県支部 (2回)	44
まちの保健室	17
丸亀市栗熊コミュニティセンター	200
丸亀市赤十字奉仕団飯山北分団	400
丸亀市婦人団体連絡協議会	70
丸亀ボランティアサークルすみれ会	20
まんのう町赤十字奉仕団長炭分団	40
リラクゼーション研修会 (2回)	57
計 49 回	2,437

● 幼児安全法

こどもを社会の財産として大切に育てるために、「こどもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

■ 支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ	13	13
支部主催教室 (2回)	27	14
計 3 回	40	27

■ 資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室 (1回)	1	1
計 1 回	1	1

■ 短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
いのちの応援舎 (8回)	96
香川県教育センター	56
観音寺市社会福祉協議会	30
観音寺市ファミリー・サポート・センター (2回)	29
コープかがわ飯山店	14
こぶし今里保育園	20
さぬき市ファミリー・サポート・センター (3回)	31
神愛館 (2回)	35
世界救急法デー記念イベント	100
赤十字なんがでっきょん? セミナー (6回)	193
高松市木太町婦人学級	30
高松市こども園運営課	60
高松市赤十字奉仕団	50
高松市赤十字奉仕団多肥分団	30
高松市牟礼校区コミュニティ協議会	40
高松市立円座小学校	110

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
高松市立男木小学校	8
高松市立花園小学校	61
たかまつファミリー・サポート・センター (6回)	80
中野保育所	12
西春日保育所ピノキオ子育て支援センター	12
二番丁幼稚園	8
日本赤十字社香川県支部 (5回)	109
花ノ宮保育園子育て支援センターはなのみや	25
丸亀市栗熊コミュニティセンター	200
丸亀市東小川児童センター	13
丸亀市ファミリー・サポート・センター (4回)	57
丸亀市立飯山幼稚園	30
まんのう町赤十字奉仕団長炭分団	40
わはは・ネット (2回)	111
わはは・ネット香西 (2回)	33
わはは・ネット高松 (2回)	32
計 64 回	1,755





赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など赤十字のパイオニアとして活動を県内各地で展開しています。

● 地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

■ 組織及び団員数 17団（8市9町） 14,452人

区 分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	11	11	8	15	10	8	11	11	6	23	155分団
団員数	1,564	2,883	1,047	403	349	400	520	1,231	1,044	978	4,033	14,452人

■ 主な活動内容

- ①社員増強に関する活動
- ②災害救護に関する活動
- ③救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④赤十字病院における活動
- ⑤献血推進に関する活動
- ⑥青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦社会福祉に関する活動
- ⑧その他



■ 研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加者(対象)	参加人数
本 社	赤十字奉仕団中央委員会	6月 1日～ 2日	東京都・本社	支部委員会 委員長	1
	赤十字ボランティアリーダー研修会	9月24日～26日	東京都・本社	坂出市	1
	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	2月13日～15日	東京都・本社	東かがわ市	1
ブロック	中国・四国ブロック協議会	9月13日～15日	徳島県	支部委員会 委員長	1
	中国・四国ブロック研修会(ボランティア・リーダー)	11月16日～18日	山口県	高松市、観音寺市、香川郡	3
支 部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月25日	日赤香川県支部	支部委員	12
	赤十字奉仕団委員長会議	6月14日	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長、地区区分担当者	63
	世界救急法デー記念イベント	9月10日	日赤香川県支部	各地区奉仕団員	121
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月28日	日赤香川県支部	支部委員	9
	平成28年度熊本視察研修	10月25日～26日	熊本県内	各市から約2名、町から約1名	中止
	赤十字のつどい～赤十字非常食炊き出しコンテスト～	3月11日	さぬきこどもの国	各市町奉仕団員、地区区分担当者	126

■ 災害用移動炊飯器配備

2ヵ年計画で各市地区・町分区に1台ずつ災害用移動炊飯器を配備します。今年度は9町分区に配備しました。

■ 研修会の実施

○熊本視察研修（10月8日に阿蘇山噴火のため中止）

- ・日 時 平成28年10月25日(火)～26日(水)
- ・場 所 熊本県内(熊本市、阿蘇地域周辺)
- ・参 加 者 県内赤十字奉仕団(各地区2人、各分区1人30人程度)
- ・研修目的 被災現場の視察を通して防災・減災の意識を高めるとともに、赤十字の発祥の地でもある熊本において赤十字そのものの理解を深めることで、今後の奉仕団活動をより一層充実させることを目的としました。



○「赤十字のつどい ～赤十字非常食炊き出しコンテスト～」の参加

- ・日 時 平成 29 年 3 月 11 日 (土) 10:00 ~ 15:00
- ・場 所 さぬきこどもの国 (高松市香南町)
- ・参 加 者 13 市町赤十字奉仕団員、担当者 126 人
- ・内 容 12 種類のメニュー (主食、副食、デザート) の提供
- ・目 的 赤十字非常食炊き出しコンテストを開催することで、「災害への備え・食の支援」を考える機会とし、災害に対する意識の高揚を目的として実施しました。



○地区・分区分赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。

また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

- ・研修内容
 - 赤十字とボランティア
 - 赤十字と災害救護
 - 赤十字防災ボランティア
 - 非常食の炊き出し
 - 応急手当等



■モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- 指 定 期 間 3 年間
- 指定奉仕団数 毎年 3 団以内
- 重点活動内容
 - ①地域高齢者支援活動
 - ②児童の健全育成活動
 - ③非常災害に対する地域防災活動
 - ④社資募集に関する特色ある活動
 - ⑤その他必要な活動

	奉仕団名	活動内容
平成26年度	東かがわ市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	土庄町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 地域高齢者支援活動
平成27年度	三木町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	直島町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 社資増強に関する特色ある活動
平成28年度	さぬき市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動



●青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

■組織及び団員数 9 団 388 人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団

■主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事 (各種イベント等) への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加





研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加人数
ブロック	中国・四国ブロック連絡協議会	6月11日～12日	島根県	2
	中国・四国ブロック研修会	10月 8日～10日	山口県	3
支部・協議会	平成28年熊本地震災害義援金街頭募金活動	4月23日～5月4日	高松市内・丸亀市内	123
	赤十字フェスタ	5月29日	高松丸亀町番街前ドーム広場	13
	坂出自動車学校イベント「謝恩花火祭」	6月 5日	坂出自動車学校	4
	託児ボランティア研修会	6月19日	日赤香川県支部	4
	香川県支部連絡協議会総会	6月19日	日赤香川県支部	28
	リラクゼーション研修会	7月 9日	日赤香川県支部	4
	青少年赤十字トレーニング・センター	8月 5日～7日	五色台少年自然センター	9
	世界救急法デー記念イベント	9月10日	香川県社会総合福祉センター	1
	かがわ育児の日フェスティバル	10月 2日	さぬきこどもの国	4
	NHK海外たすけあいキャンペーン	12月 3日	高松市内	34
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月25日	高松市内	6
	赤十字のつどい～赤十字非常食炊き出しコンテスト～	3月11日	さぬきこどもの国	16

● 特殊奉仕団

香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人たちによって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 37人
- ②主な活動内容
 - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
 - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加



香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 119人
- ②主な活動内容
 - 救急法等講習普及活動
 - 支部実施行事（各種イベント等）への協力、団員研修・交流



親子海洋教室（赤十字水上安全法講習会：香川県地区小型船安全協会共催）開催

- ・日時 平成28年7月23日（土）
- ・場所 小豆島ふるさと村
- ・内容 レスキューボード親子体験
心肺蘇生及び自動体外式除細動器（AED）の取扱い
着衣泳
- ・参加者 40人

赤十字安全奉仕団研修会開催

- ・日時 平成28年12月10日（土）
- ・場所 香川県社会福祉総合センター 7階第1中会議室
- ・内容
 - ①「香川県の災害について」（講演）
香川大学 地域強靱化研究センター長 金田義行氏
 - ②日本赤十字社防災プログラム「災害エスノグラフィー」
安全奉仕団員 荒谷敬一郎氏
- ・参加者 25人



■ 香川県赤十字奉仕団 “ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間そばに付き添い、静かに話に耳を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

①組織及び団員数 1団 47人

②主な活動内容

- 施設へのケアサービス提供
(14回、参加ボランティア数 701人)
- 団員研修会の開催
(2回、参加者 57人)
- 団員の増強とケアサービスの普及、充実
- 支部実施行事(各種イベント等)への協力



■ 香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

①組織及び団員数 1団 105人

②主な活動内容

- 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
- 青少年赤十字加盟校への協力
- 香川県教育委員会への働きかけ
- 校長会・園長会等への働きかけ
- 地域奉仕団との連携

■ 香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しています。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

①組織及び団員数 1団 53人

②主な活動内容

- 支部実施行事(各種イベント等)への協力
- 団員研修・交流



■ 香川県赤十字託児ボランティア

赤十字幼児安全法等の講習を受けるお母さん方が、小さなお子様を連れて受講しづらい状況を受けて始まったのが託児ボランティア活動です。資格を問わず、有志のボランティアによって活動しています。

その他、高松赤十字病院における乳児健診時の託児などを行っています。

①登録人員 26人

②主な活動内容

- 幼児安全法等講習時の託児実施
(6回、参加ボランティア数 18人)
- 高松赤十字病院乳児健診時における託児(毎週金)
- 託児ボランティア研修会の参加



青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・こども園・保育所）内に組織されています。

全国の保育所から高等学校まで約1万3千校、303万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

加盟状況

区分	保育所	幼稚園・こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	52	156	141	66	43	3	461校(所・園)
メンバー数	4,832	13,309	36,639	20,653	15,143	219	90,795人



加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	104	高松市立多肥保育所	138	坂出市立川津愛児園	90
高松市立扇町保育所	155	高松市立林保育所	157	坂出市立松山保育園	76
高松市立宮脇保育所	58	高松市立川島保育所	141	坂出市立江尻保育所	56
高松市立松島保育所	121	高松市立西植田保育所	28	坂出市立府中保育所	50
高松市立福岡保育所	69	高松市立東植田保育所	25	坂出市立西部保育所	23
高松市立桜町保育所	181	高松市立大野保育所	101	坂出市立南部保育所	119
高松市立田村保育所	54	高松市立大野東保育所	66	坂出市立加茂保育所	69
高松市立鶴尾保育所	37	高松市立浅野保育所	116	育愛館	135
高松市立太田保育所	150	高松市立川東保育所	109	金花保育園	145
高松市立木太保育所	147	高松市立川東南保育所	38	豊城福祉会坂出保育園	91
高松市立古高松保育所	169	高松市立国分寺北部保育所	110	林田保育園	118
高松市立屋島保育所	144	高松市立国分寺南部保育所	93	みどり保育園	143
高松市立下笠居西部保育所	9	高松市立牟礼保育所	107	愛集苑保育所	15
高松市立下笠居東部保育所	23	高松市立田井保育所	69	土庄町立北浦保育所	13
高松市立香西保育所	173	松福福祉会城東保育園	137	土庄町立大鐸保育所	5
高松市立弦打保育所	147	中野保育所	153	小豆島町立池田保育所	38
高松市立鬼無保育所	85	こぶし花園保育園	110	計52所	4,832
高松市立三谷保育所	20	花ノ宮保育所	102		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	29	高松市立国分寺北部幼稚園	115	丸亀市立城北幼稚園	25
高松市立前田幼稚園	39	高松市立国分寺南部幼稚園	127	丸亀市立城山幼稚園	108
高松市立川添幼稚園	61	高松中央高等学校高松中央高校幼稚園	58	丸亀市立城東幼稚園	107
高松市立林幼稚園	119	ときわ幼稚園	97	丸亀市立城辰幼稚園	119
高松市立三溪幼稚園	64	高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	207	丸亀市立郡家幼稚園	174
高松市立香西幼稚園	89	高松聖ヤコブ幼稚園	159	丸亀市立本島幼稚園	3
高松市立一宮幼稚園	59	四国高松学園高松東幼稚園	120	※丸亀市立あやうたこども園	106
高松市立多肥幼稚園	80	香川県百華学園勅使百華幼稚園	263	丸亀市立飯山幼稚園	187
高松市立川岡幼稚園	36	のぞみ学園のぞみ幼稚園	98	聖母学園丸亀聖母幼稚園	109
高松市立円座幼稚園	87	栗林学園栗林幼稚園	313	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	224
高松市立檀紙幼稚園	67	二番丁学園二番丁幼稚園	117	香川大学教育学部附属幼稚園	78
高松市立弦打幼稚園	59	亀阜学園亀阜幼稚園	146	坂出市立坂出中央幼稚園	108
高松市立鬼無幼稚園	19	高松学園高松幼稚園	175	坂出市立林田幼稚園	44
高松市立下笠居こども園	76	屋島教会学園屋島教会幼稚園	102	坂出市立加茂幼稚園	36
高松市立木太幼稚園	125	聖母学園高松聖母幼稚園	125	坂出市立府中幼稚園	23
高松市立山田幼稚園	85	聖母学園桜町聖母幼稚園	187	坂出市立川津幼稚園	32
高松市立檀浦幼稚園	7	相愛学園相愛幼稚園	284	坂出市立松山幼稚園	30
高松市立春日幼稚園	69	小山学園愛育幼稚園	51	坂出市立瀬居幼稚園	2
高松市立木太北部幼稚園	98	青空幼稚園	133	ルンビニ幼稚園	59
高松市庵治こども園	112	百華学園太田百華幼稚園	258	坂出一高幼稚園	108
高松市塩江こども園	44	光華学園光華幼稚園	158	善通寺市立中央幼稚園	86
高松市はらこども園	152	新田学園新田幼稚園	95	善通寺市立西部幼稚園	56
高松市立栗山幼稚園	69	寺井幼稚園	197	善通寺市立南部幼稚園	67
高松市立田井幼稚園	27	国東学園くにとう幼稚園	333	善通寺市立東部幼稚園	98
高松市立大町幼稚園	27	やしま学園やしま幼稚園	237	善通寺市立与北幼稚園	17
高松市立大野幼稚園	48	古高松学園つくし幼稚園	71	善通寺市立竜川幼稚園	195
高松市立浅野幼稚園	40	まゆみ学園まゆみ幼稚園	87	善通寺市立筆岡幼稚園	83
高松市立川東幼稚園	49	※認定こども園サンシャインこどもの森	61	善通寺市立吉原幼稚園	59
高松市香南こども園	244	丸亀市立西幼稚園	72	聖母学園善通寺聖母幼稚園	38

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
観音寺市立観音寺幼稚園	226	三豊市立辻幼稚園	25	小豆島町立旭幼稚園	7
観音寺市立作田幼稚園	77	三豊市立河内幼稚園	10	小豆島町立福田幼稚園	3
観音寺市立豊田幼稚園	20	三豊市立大野幼稚園	39	小豆島町立池田幼稚園	57
観音寺市立一ノ谷幼稚園	27	三豊市立神田幼稚園	3	※ 三木町立平井幼稚園	100
観音寺市立大野原幼稚園	251	三豊市立吉津幼稚園	52	※ 三木町立田中幼稚園	24
観音寺市立豊浜幼稚園	110	三豊市立下高瀬幼稚園	71	※ 三木町立白山幼稚園	47
聖母学園観音寺聖母幼稚園	101	三豊市立大見幼稚園	57	三木学園おおば幼稚園	156
さぬき市立津田幼稚園	41	三豊市立豊中幼稚園	277	直島町直島幼児学園	85
さぬき市立鶴羽幼稚園	19	三豊市立詫間幼稚園	117	宇多津町立宇多津幼稚園	92
さぬき市立さぬき南幼稚園	80	三豊市立松崎幼稚園	37	青山幼稚園	164
さぬき市立志度幼稚園	83	三豊市立大浜幼稚園	7	香川短期大学附属幼稚園	130
さぬき市立さぬき北幼稚園	41	三豊市立平石幼稚園	86	まんのう町立高篠こども園	57
さぬき市立寒川幼稚園	74	※ 三豊市立曾保幼稚園	4	まんのう町立四条こども園	80
さぬき市立長尾幼稚園	78	三豊市立財田幼稚園	60	※ まんのう町立満濃南こども園	179
さぬき市立造田幼稚園	40	土庄町立土庄幼稚園	43	※ まんのう町立長炭こども園	56
聖母学園長尾聖母幼稚園	40	土庄町立洲崎幼稚園	47	※ まんのう町立仲南こども園	86
東かがわ市立福栄やまびこ園	25	土庄町立大鐸幼稚園	23	※ まんのう町立琴南こども園	52
東かがわ市丹生こども園	107	土庄町立大部幼稚園	14	琴平町立南幼稚園	46
三豊市立二ノ宮幼稚園	24	土庄町立北浦幼稚園	8	琴平町立北幼稚園	30
三豊市立比地二幼稚園	47	※ 土庄町立四海幼稚園	17	多度津町立四箇幼稚園	69
三豊市立上高瀬幼稚園	87	小豆島町立星城幼稚園	25	多度津町立白方幼稚園	12
三豊市立勝間幼稚園	38	小豆島町立安田幼稚園	24	多度津町立豊原幼稚園	81
三豊市立麻幼稚園	47	小豆島町立苗羽幼稚園	19	多度津町立多度津幼稚園	41
				計 156 所	13,309

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	607	丸亀市立城坤小学校	593	さぬき市立神前小学校	100
高松市立新番丁小学校	16	丸亀市立城北小学校	8	さぬき市立石田小学校	207
高松市立亀阜小学校	14	丸亀市立城西小学校	527	さぬき市立長尾小学校	464
高松市立栗林小学校	22	丸亀市立城南小学校	573	さぬき市立造田小学校	185
高松市立花園小学校	279	丸亀市立城東小学校	14	さぬき市立前山小学校	12
高松市立高松第一小学校	661	丸亀市立城辰小学校	341	東かがわ市立引田小学校	250
高松市立鶴尾小学校	7	丸亀市立本島小学校	13	東かがわ市立本町小学校	206
高松市立太田小学校	811	丸亀市立小手島小学校	1	東かがわ市立福栄小学校	42
高松市立木太小学校	522	丸亀市立郡家小学校	787	東かがわ市立白鳥小学校	140
高松市立古高松小学校	611	丸亀市立飯野小学校	308	東かがわ市立大内小学校	423
高松市立屋島小学校	471	丸亀市立垂水小学校	385	三豊市立二ノ宮小学校	97
高松市立前田小学校	229	丸亀市立富熊小学校	216	三豊市立比地小学校	165
高松市立川添小学校	407	丸亀市立栗熊小学校	128	三豊市立吉津小学校	154
高松市立林小学校	228	丸亀市立岡田小学校	9	三豊市立本山小学校	113
高松市立三溪小学校	412	丸亀市立飯山北小学校	620	三豊市立上高野小学校	106
高松市立仏生山小学校	506	丸亀市立飯山南小学校	373	三豊市立比地大小学校	83
高松市立一宮小学校	739	香川大学教育学部附属坂出小学校	421	三豊市立松崎小学校	125
高松市立多肥小学校	22	坂出市立坂出小学校	522	三豊市立仁尾小学校	247
高松市立川岡小学校	289	坂出市立東部小学校	156	土庄町立土庄小学校	553
高松市立円座小学校	735	坂出市立金山小学校	175	土庄町立豊島小学校	26
高松市立檀紙小学校	565	坂出市立西庄小学校	62	小豆島町立星城小学校	136
高松市立弦打小学校	543	坂出市立林田小学校	337	小豆島町立苗羽小学校	6
高松市立鬼無小学校	8	坂出市立加茂小学校	204	小豆島町立安田小学校	159
高松市立下笠居小学校	259	坂出市立府中小学校	153	小豆島町立池田小学校	183
※ 高松市立男木小学校	4	坂出市立川津小学校	44	三木町立平井小学校	589
高松市立川島小学校	482	坂出市立松山小学校	203	三木町立田中小学校	98
高松市立十河小学校	117	坂出市立瀬居小学校	28	三木町立氷上小学校	486
高松市立東植田小学校	37	坂出市立若黒小学校	1	三木町立白山小学校	14
高松市立植田小学校	87	善通寺市立東部小学校	255	直島町立直島小学校	7
高松市立中央小学校	913	善通寺市立中央小学校	225	綾川町立綾上小学校	40
高松市立太田南小学校	1017	善通寺市立西部小学校	147	綾川町立昭和小学校	3
高松市立木太南小学校	135	善通寺市立南部小学校	154	綾川町立陶小学校	56
高松市立古高松南小学校	659	善通寺市立筆岡小学校	239	綾川町立滝宮小学校	344
高松市立屋島東小学校	12	観音寺市立観音寺小学校	560	綾川町立羽床小学校	71
高松市立屋島西小学校	463	観音寺市立伊吹小学校	16	宇多津町立宇多津小学校	451
高松市立木太北部小学校	425	観音寺市立高室小学校	141	宇多津町立宇多津北小学校	681
高松市立塩江小学校	103	観音寺市立常磐小学校	391	まんのう町立琴南小学校	64
高松市立庵治小学校	195	観音寺市立豊田小学校	130	まんのう町立高篠小学校	200
高松市立牟礼小学校	329	観音寺市立栗井小学校	78	まんのう町立四条小学校	208
高松市立牟礼北小学校	435	観音寺市立作田小学校	83	まんのう町立満濃南小学校	213
高松市立牟礼南小学校	237	観音寺市立一ノ谷小学校	260	まんのう町立長炭小学校	90
高松市立大野小学校	10	観音寺市立大野原小学校	537	まんのう町立仲南小学校	192
高松市立浅野小学校	15	観音寺市立豊浜小学校	353	琴平町立榎井小学校	106
高松市立香南小学校	378	さぬき市立津田小学校	203	多度津町立四箇小学校	323
高松市立国分寺北部小学校	16	さぬき市立さぬき南小学校	270	多度津町立白方小学校	38
高松市立国分寺南部小学校	247	さぬき市立志度小学校	601	多度津町立豊原小学校	483
※ 丸亀市立城乾小学校	263	さぬき市立さぬき北小学校	8	※ 多度津町立多度津小学校	305
				計 141 所	36,639

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
高松市立桜町中学校	839	高松市立国分寺中学校	767	東かがわ市立白鳥中学校	248
高松市立紫雲中学校	693	丸亀市立西中学校	805	東かがわ市立大川中学校	353
高松市立玉藻中学校	678	丸亀市立本島中学校	10	三豊市立高瀬中学校	382
高松市立高松第一中学校	316	丸亀市立綾歌中学校	298	三豊市立三野津中学校	268
高松市立鶴尾中学校	10	丸亀市立飯山中学校	573	三豊市立豊中中学校	320
高松市立屋島中学校	547	香川大学教育学部附属坂出中学校	359	三豊市立詫間中学校	341
高松市立協和中学校	594	坂出市立坂出中学校	10	三豊市立仁尾中学校	169
高松市立龍雲中学校	18	坂出市立東部中学校	12	三豊市立和光中学校	91
高松市立勝賀中学校	652	坂出市立白峰中学校	469	※ 三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	364
高松市立一宮中学校	119	坂出市立瀬居中学校	19	土庄町立土庄中学校	272
高松市立香東中学校	740	坂出市立岩黒中学校	4	土庄町立豊島中学校	7
高松市立下笠居中学校	122	坂出市立礪石中学校	1	小豆島町立小豆島中学校	293
※ 高松市立男木中学校	4	善通寺市立西中学校	306	三木町立三木中学校	42
高松市立山田中学校	624	観音寺市立観音寺中学校	356	直島町立直島中学校	61
高松市立太田中学校	744	観音寺市立中部中学校	494	宇多津町宇多津中学校	534
高松市立古高松中学校	587	観音寺市立伊吹中学校	16	※ 綾川町立綾南中学校	523
高松市立木太中学校	790	観音寺市立大野原中学校	334	まんのう町立満濃中学校	8
高松市立塩江中学校	73	観音寺市立豊浜中学校	9	琴平町立琴平中学校	209
高松市立庵治中学校	96	さぬき市立さぬき南中学校	425	香川県大手前高松中学校	93
高松市立牟礼中学校	404	さぬき市立志度中学校	480	香川誠陵中学校	178
高松市立香川第一中学校	213	さぬき市立長尾中学校	317	香川県大手前中学校	368
高松市立香南中学校	235	東かがわ市立引田中学校	134	香川県藤井中学校	233
				計 66 所	20,653

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立小豆島高等学校	24	香川県立香川中央高等学校	46	高松市立高松第一高等学校	909
香川県立土庄高等学校	306	香川県立農業経営高等学校	344	藤井学園寒川高等学校	638
香川県立三本松高等学校	34	香川県立坂出商業高等学校	524	高松中央高等学校	2
香川県立津田高等学校	421	香川県立坂出高等学校	809	英明高等学校	521
香川県立志度高等学校	396	香川県立坂出工業高等学校	418	香川県大手前高松高等学校	508
香川県立石田高等学校	360	香川県立飯山高等学校	34	香川誠陵高等学校	363
香川県立三木高等学校	31	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	392
香川県立高松北高等学校	34	香川県立丸亀城西高等学校	649	香川県大手前高等学校	413
香川県立高松高等学校	320	香川県立善通寺第一高等学校	691	香川県藤井高等学校	12
香川県立高松工芸高等学校	19	香川県立琴平高等学校	604	尽誠学園高等学校	755
香川県立高松商業高等学校	939	香川県立多度津高等学校	602	香川西高等学校	14
香川県立高松東高等学校	827	香川県立笠田高等学校	362	禅林学園高等学校	75
香川県立高松南高等学校	34	香川県立高瀬高等学校	465	香川高等専門学校校舎間キャンパス	1
香川県立高松西高等学校	15	香川県立観音寺中央高等学校	63	計 43 所	15,143
香川県立高松桜井高等学校	840	香川県立三豊工業高等学校	301		

香川県立聾学校	40	香川県立善通寺養護学校	118	香川大学教育学部附属特別支援学校	61
				計 3 所	219

研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加者（対象）	参加人数
本 社	トレーニング・センター指導者養成講習会	5月26日～29日	東京都・国立オリンピック記念センター	指導者	1
	全国指導者協議会総会・役員会	6月30日～7月1日	東京都・本社	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会	7月 1日～ 2日	東京都・本社	賛助奉仕団委員長	1
	指導主事対象研究会	1月11日～12日	東京都・本社	指導主事	1
ブロック	スタディー・センター	3月22日～27日	東京都・東照館	高校生メンバー・指導者	2
	四国ブロック高校生研究協議会	8月17日～19日	香川県青年センター	中・四国高校生メンバー・指導者	6
	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月13日～14日	高知県	中・四国賛助奉仕団員	1
	中国・四国ブロック指導者協議会	10月20日～21日	岡山県	指導者協議会役員・支部職員	2
支 部 ・ 協議会	指導者協議会役員会	文書審議	日赤香川県支部	指導者協議会役員	—
	香川県賛助奉仕団総会	文書審議	高松市内	賛助奉仕団員	—
	赤十字フェスタ	5月29日	高松丸亀町老番街前ドーム広場	青少年赤十字メンバー・指導者	59
	リーダー養成トレーニング・センター企画運営委員会	6月 9日	日赤香川県支部	企画運営委員	7
	香川県指導者研修会	6月18日	香川県社会福祉総合センター	指導者	30
	リーダー養成トレーニング・センター指導者研修会	7月11日	日赤香川県支部	指導者	12
	リーダー養成トレーニング・センター	8月 5日～ 7日	五色台少年自然センター	小・中・高メンバー・指導者	110
	指導者協議会役員会	9月24日	日赤香川県支部	指導者協議会役員	6
	研究発表会	11月16日	丸亀市立城坤小学校	指導者等	251
	指導者協議会役員会	3月22日	日赤香川県支部	指導者協議会役員	6



■ 青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校教育と青少年赤十字の関わりについて、また、青少年赤十字に加盟することの意義と効果について、認識を一層深めていただき、学校づくり・子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催しました。

- ・日 時 平成28年6月18日(土) 14:00～16:00
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室
- ・講演内容 青少年赤十字の取り入れ方と防災教育教材の活用
- ・講 師 手島 英樹氏(愛知県岡崎市立夏山小学校 教頭)
元日本赤十字社愛知県支部 事務局事業部 青少年赤十字課係長
- ・参 加 者 30人(青少年赤十字加盟校指導者等)



■ 青少年赤十字リーダー養成トレーニング・センターの開催

リーダーとなる児童・生徒の養成を目的として知識、技術、態度の面から、赤十字と青少年赤十字について集中的に学習をすすめました。

特に、“なすことをもって学ぶ” 集団生活の活動体験を通して、自主性を養い、学校や地域社会に役立つ青少年の育成を目指しました。

- ・日 時 平成28年8月5日(金)～7日(日)
- ・場 所 香川県立五色台少年自然センター
- ・学習活動
 - ①赤十字について(歴史、組織、事業、原則、標章等)
 - ②青少年赤十字について(歴史、活動等)
 - ③体験学習(健康安全プログラム等)
 - ④ボランティア・サービスの実践
 - ⑤グループ・ワーク学習(ワーク・ショップ)
- ・参 加 者 110人(小・中・高メンバー、指導者、スタッフ)



● 青少年赤十字研究推進校の指定

加盟校における青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、未加盟校への啓発を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定(2年間)し、研究を委嘱しました。

■ 指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
平成27年度	平成27年度～ 平成28年度	「気づき、考え、実行する子どもの育成」 ～自立・協働を支える支援を求めて～	丸亀市立城坤小学校
平成28年度	平成28年度～ 平成29年度	みんながもれなく学び合う授業づくり ～協同学習による授業改善～	高松市立協和中学校

■ 研究発表会の開催

- ・日 時 平成28年11月16日(水) 14:00～16:30
- ・開催校 丸亀市立城坤小学校
- ・参加者 教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等251人





高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、地域密着型急性期病院として、地域がん診療連携拠点病院の指定、地域医療支援病院の承認、総合入院体制加算の取得、地域周産期母子医療センターの認定や、高度医療機器の更新等、診療機能の強化を行うとともに患者サービスの向上に努め、高度専門医療を提供する病院として質の高い医療の提供に努めています。



■ 病床数

576床（一般病床568床 結核病床8床）

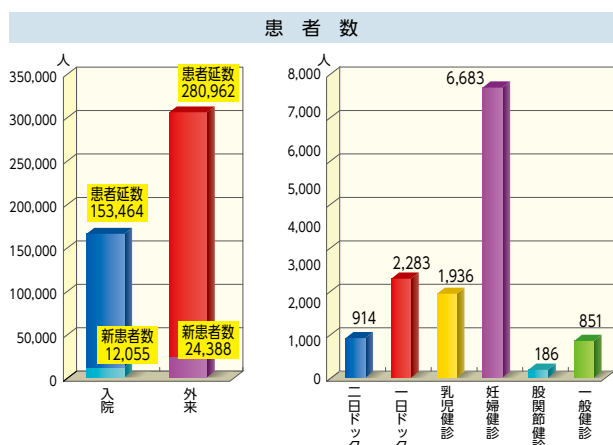
■ 診療科目

- 血液内科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 呼吸器内科
- 小児科
- 消化器外科
- 胸部・乳腺外科
- 小児外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 整形外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 腎臓外科(臓器移植)
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 歯科口腔外科
- 精神科
- リハビリテーション科
- 麻酔科
- 放射線科
- 病理診断科（26診療科）

■ 職員数（平成29年3月31日現在）

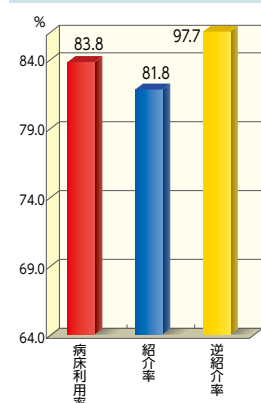
- 医師 158人
- 医療技師 164人
- 看護師・助産師 548人
- 事務職員 190人
- その他職員 79人

■ 業務実績(平成28年度)

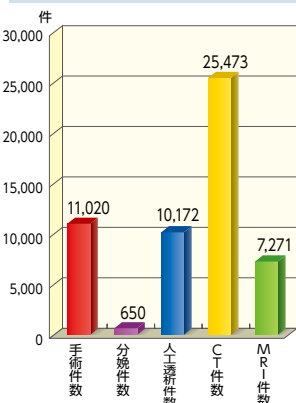


一日平均入院患者数	420.4人
一日平均外来患者数	1156.2人
平均在院日数	12.7日

■ 病床利用率・紹介率



■ 手術・分娩・検査件数



■ 主な指定、施設基準

- 災害拠点病院（地域災害医療センター）
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- ホスピレート（病院就労環境評価・認証）
- 7対1入院基本料
- 総合入院体制加算3
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1、2

■ その他認定取得

- 病院機能評価 3rdG: Ver1

■ 医療の質の向上

- ① 医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導体制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
平成28年度 初期9名、後期2名
 - 医師事務支援体制の充実（医師の外来業務負担軽減）
平成29年3月31日現在、外来クラーク42名
 - 医師体験講座の開催
平成28年7月30日（中学生対象16名）
平成28年8月28日（高校生対象15名）
- ② 看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
平成28年度新人看護師39名（助産師1名を含む）
 - 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
平成29年3月31日現在 認定看護師21名
専門看護師2名

- 特定行為に係る看護師の配置
平成 29 年 3 月 31 日現在 1 名
- 病棟クラーク（看護業務の事務支援スタッフ）の拡充
平成 29 年 3 月 31 日現在 10 名
- ③ 医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、言語療法士（ST）によるリハビリ体制の充実、土曜リハビリの実施
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実
 - 管理栄養士による栄養サポート、指導体制の強化
- ④ チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
 - モーニングセミナー、ランチョンセミナーの継続的開催
 - チーム医療への事務職員の積極的な参画
- ⑤ 地域医療支援病院としての認定維持と病診・病病連携の強化
 - 地域連携の前方、後方支援体制強化
 - 逆紹介の推進（平成 28 年度逆紹介率 97.7%）
 - 入退院センターの運用強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化（循環器内科、脳神経外科、泌尿器科）
 - 患者相談支援センターの拡充
 - 地域連携フォーラムの開催
 - 地域連携ニュース（医師向け）の発行
 - 広報誌「こもれび」（患者向け）の発行
 - 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進
- ⑥ 地域がん診療連携拠点病院として地域の医療機関との連携強化
 - 地域連携パスの推進
 - セカンドオピニオン外来の推進
 - 緩和医療の推進
- ⑦ 救急医療の充実
 - 救急医療スタッフの拡充
 - 24 時間診療体制の維持
 - ドクターカーの有効活用
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - 救急隊との連携強化（合同勉強会開催）
- ⑧ 周産期医療の強化
 - 地域周産期母子医療センターとしての運営強化
 - 助産師外来、母乳外来、骨盤外来の拡充
- ⑨ 診療の質の充実
 - クリニカルインジケーターの活用
 - 診療録管理体制の強化
- ⑩ 医療安全管理体制の強化
 - 医療事故の防止体制強化
 - 医療事故調査制度に対応した院内事故発生時のマニュアル整備
 - 医療安全の研修会参加
 - 研修、セミナー、ワークショップを活用した医療安全の推進
 - インシデント（事件）、アクシデント（事故）報告の徹底

- ⑪ 院内感染防止対策の強化
 - 新採用職員に対する院内感染対策の基本的知識の啓発継続
 - 講習会、研修会での職員に対する教育の徹底
- ⑫ 救護、救援体制の強化
 - 大規模災害を想定した訓練の実施
平成 29 年 1 月 13 日（金）
 - 他の医療機関、企業や周辺地域との大規模災害時の応援体制づくり
 - 国際救援要員養成の取組み強化
 - 医療救護活動の体制強化、災害時一斉メールシステム
- ⑬ 広報の充実
 - 病院情報の各医療機関、地域住民への発信拡充
 - 医師、看護師等の職員確保に向けたリクルート情報の発信、SNS の活用
 - 「診療のご案内」の各医療機関への配布
 - メールマガジンの医療関係者へ向けての配信

■ 患者サービスの向上

- ① 女性外来の開設
 - 女性医師を中心としたプライバシーに配慮した診療体制（産婦人科（火）、泌尿器科（水）、胸部・乳腺外科（金））
- ② 患者への情報提供の推進
 - ホームページ、広報誌「なんがでっきょん」の充実
 - 患者図書室の有効活用
 - 院内情報配信システムの有効活用
 - 市民・県民に向けた健康維持の公開講座（健康講話十二講）
- ③ 接遇能力の向上
 - 患者満足度の向上、患者満足度調査実施
 - ご意見箱の設置
- ④ 待ち時間の短縮
 - 予約時間の徹底、新患外来の推進
 - ホスピジョン（患者番号案内表示システム）、「まもなくコール」の活用
- ⑤ 人間ドックの充実
 - 基本検査項目の追加
- ⑥ 病院へのアクセス改善
 - 日赤シャトルバスの運行
- ⑦ コンシェルジュの導入

■ 診療基盤の整備

- ① 新東館（仮称）基本設計
- ② 無菌室の拡充・整備
- ③ 本館 8～10 階病棟の改修
- ④ HCU 病室の増床
- ⑤ ハイブリッド手術室の設置
- ⑥ 医療機器の整備

高松赤十字病院

〒760-0017 高松市番町4丁目1番3号

TEL 087-831-7101

ホームページ：<http://www.takamatsu.jrc.or.jp/>



地域連携フォーラム



コンシェルジュ



ハイブリッド手術室

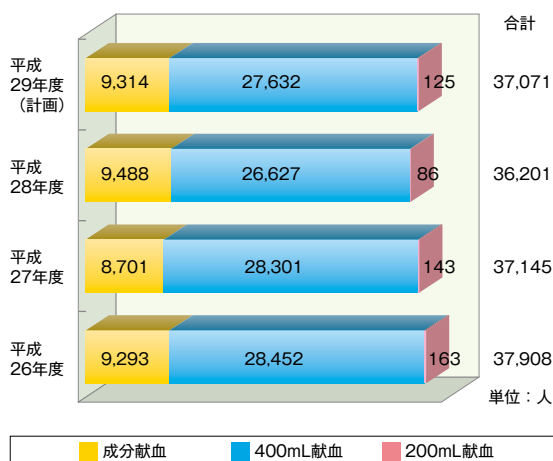


人工心臓装置

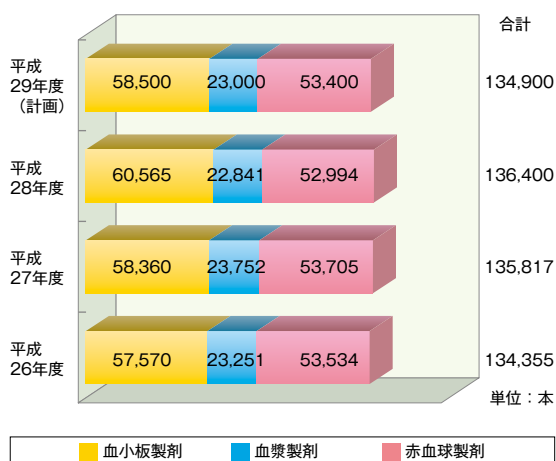


「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

県内献血実績 (人数)



県内輸血用血液供給実績 (200mL換算本数)



献血稼働実績

	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
平成29年度(計画)	330台	55.0人	363日	52.1人
平成28年度	319台	55.9人	362日	50.7人
平成27年度	350台	53.6人	363日	50.8人
平成26年度	362台	53.9人	359日	51.2人

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1

TEL 087-881-1500

ホームページ：http://www.kagawa.bc.jrc.or.jp/

献血ルーム“オリーブ”

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3

高松丸亀町参番街東館3F

TEL 087-821-2300

愛の血液助け合い運動

日本赤十字社では、広く国民各層に献血思想の普及を図ることを目的として、7月の1ヵ月間「愛の血液助け合い運動」を展開しました。本県においても7月・8月の2ヵ月を「愛の血液助け合い運動」月間とし、平成28年7月3日にはサッカーJ2のカマタマーレ讃岐の2選手に「一日血液センター所長」を委嘱し、街頭での献血啓発を行い献血推進を県民運動として盛り上げました。また、より一層の推進を図るため平成28年7月22日、香川県庁において香川県献血運動推進大会を開催しました。

全国学生クリスマス献血キャンペーン

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、今年も学生のアイデアを凝らしたイベントを平成28年12月18日及び21日から25日にかけて実施しました。

はたちの献血キャンペーン

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、平成29年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

若年層への普及啓発

少子高齢化による献血者減少に対応するため、将来の献血を担う若年層を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前講座」及び「小学生親子血液センター見学教室」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

複数回献血者の確保

安全な血液を安定的に確保するため、複数回献血者（年間複数回献血）を募集しました。複数回献血者にはメールにより、イベント情報等のお知らせや輸血用血液に不足が生じた場合の献血依頼を発信しました。

低ヘモグロビン血者等に対する健康相談事業

低ヘモグロビン血で献血ができなかった方に栄養士が食事・生活面について指導し、再度献血にご協力いただくために栄養相談を実施しました。また、他の理由により献血できなかった方にも、健康維持・促進を図り献血への協力を得るために健康相談を実施しました。

献血協賛企業活動の推進

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

各種媒体による広報

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。



社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字社員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。



● 赤十字思想の普及

■ 「世界赤十字デー」記念事業(赤十字フェスタ2016)の実施

5月8日の世界赤十字デーを中心に、「赤十字フェスタ」を開催し、赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施することに伴い、この機会に広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的としました。

平成28年度は熊本地震の発生をうけ『熊本地震被災地応援イベント』として、来場者に熊本県の被災地の状況や救護活動を紹介し、防災にも関心をお寄せいただける機会になることを願い、一部内容を変更して実施しました。

● 赤十字フェスタ2016の開催

- 実施団体 日本赤十字社香川県支部 高松赤十字病院 香川県赤十字血液センター
- 日 時 平成28年5月29日(日) 11:00～15:00
- 場 所 高松丸亀町壱番街前ドーム広場
- 内 容
 - 保健師による健康相談・体力測定コーナー 握力・血圧・体脂肪測定
 - 栄養士による栄養相談コーナー 食事相談
 - 献血コーナー 献血ルーム(オリーブ)にて献血の呼び掛け
 - 講習会体験コーナー 災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
 - リラクゼーションコーナー コミュニケーションで心身のストレス軽減
 - ポップコーン綿菓子コーナー 来場者に無料配布
 - キャンペーンコーナー
 - ① 熊本救護活動等の写真展
 - ② 救護車両展示
 - ③ 子ども用救護服試着体験、記念撮影
 - ④ 香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加協力 二番丁幼稚園 香川県立高松南高等学校 尽誠学園高等学校
- 参 加 者 赤十字ボランティア等 166人
一般来場者 3,165人

当日の青少年赤十字メンバーによる募金等は193,927円となりました。

これらは全額、平成28年熊本地震災害義援金に充当させていただきました。



■ 「赤十字世界救急法デー (World First Aid Day)」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」(世界救急法デー)であることから、この機会に広く県民に救急法についてアピールすることを目的に、下記のとおり記念イベントを実施し、参加者にAEDの操作体験を含めて救命手当の重要性について認識を深めていただく機会としました。

また、併せて高松赤十字病院「県民公開講座」を開催しました。

- 日 時 平成28年9月10日(土) 9:30～11:50
- 実施団体 日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 場 所 香川県社会福祉総合センター 7階 大会議室
- 内 容
 - 高松赤十字病院「県民公開講座」
 - 演題「平成28年熊本地震における救護活動について(報告会)」
 - 講師 内分泌代謝科医師 永尾 誠 氏
南4看護係長 藤本 真由美 氏
臨床心理士 葛西 真樹子 氏
 - 救急法の実技体験、AEDの操作体験、乳幼児の心肺蘇生
災害時に役立つ代用品紹介やリラクゼーション体験等
- 来場者等 144人



■「赤十字なんがでっきょん?セミナー」の実施

平成21年度の支部創設120周年記念事業として5カ年計画で開始した「赤十字事業体験バス」については好評を得たことから、今後も社旨普及のための広報活動の一環としての継続事業としました。

また、参加対象者を広げるためにネーミングを改め、各種団体や特に一般の方々を中心に、赤十字の施設見学や講習会等で、実際に「見て・聞いて・触れて・感じて・納得して」をサブテーマに、赤十字事業への理解と知識を深めていただくことを目的に実施しました。

体験内容

- 赤十字について
- 非常食の炊き出し
- 香川県支部災害救護装備や救援物資備蓄倉庫見学
- 救急法、健康生活支援講習、幼児安全法等
- 献血について
- 献血バス、血液センター施設見学

月 日	地区・分区	参 加 者	人数
7月28日(水)	一般公募	一般	20
11月17日(木)	東かがわ市	奉仕団員	28
12月21日(水)	まんのう町	奉仕団員	37
1月11日(水)	綾川町	奉仕団員	40
1月12日(木)	高松市(女木男木)	奉仕団員、自治会員	29
2月16日(木)	高松市(鬼無)	奉仕団員、自治会員	40
合計6回			194人



■「かがわ育児の日フェスティバル2016」への参加

若い世代に子育ての楽しさや喜びを伝える等を目的として開催された「かがわ育児の日フェスティバル2016」に参加し、子どもとのふれあい等を主なテーマに設け、来場者にアピールしました。

- 日 時 平成28年10月2日(日) 10:00～16:00
- 場 所 さぬきこどもの国 芝生広場
- 内 容 子どもと赤十字のふれあい、
青年赤十字奉仕団によるスーパーボールすくい等、
子ども用救護服試着体験、災害救護車両展示
- 来場者等 コーナー来場者 500人、参加協力者 4人





香川県赤十字有功会は赤十字を理解し、その活動資金である社資を拠出いただき日本赤十字社有功章を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため平成16年に結成された組織です。

会員数 個人 48人 法人 81社

平成28年度総会は、8月1日（月）に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢49人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。

また、総会の議事に先立ち、平成28年度に高額の社資の寄託がありました方々に天雲俊夫副支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

- ・金色有功章 個人 5人
- ・銀色有功章 個人 2人 法人 15社

有功会県外研修は、防災・減災研究拠点である兵庫耐震工学研究センターなどを視察しました。

- ・日 時 平成28年11月9日（水）～11月10日（木）
- ・視察地 兵庫耐震工学研究センター他
- ・参加者 会員他 18名



評議員会は、社員（法人が社員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

平成28年度は、平成28年6月7日（火）、平成29年2月7日（火）の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの平成28年度事業報告、決算、平成29年度事業計画、予算等が承認されました。

日本赤十字社香川県支部役員名簿

（平成29年3月31日現在）

職 名	氏 名	地 区 別	備 考	職 名	氏 名	地 区 別	備 考
支 部 長	浜田 恵造			評 議 員	高畑 光宏	善通寺市地区	
副 支 部 長	天雲 俊夫			〃	片山 秀樹	観音寺市地区	
監 査 委 員	新佐 耕二			〃	遠山 良子	さぬき市地区	
〃	長嶋 正信			〃	大田 稔子	東かがわ市地区	
〃	角田 富雄			〃	植岡 澤江	三豊市地区	
評 議 員	石田 雄士	高松市地区		〃	塩田 幸雄	小豆地区	
〃	大野 敏子	〃		〃	筒井 敏行	東讃地区	
〃	中村 絹代	〃		〃	谷川 俊博	中讃地区	
〃	前田 光子	〃		〃	丸尾 幸雄	〃	
〃	香川 良子	〃		〃	竹崎 克彦	支部長選出	
〃	棒本サダ子	〃		〃	藤目 真皓	〃	
〃	金山 孝子	〃		〃	田井 敏之	〃	
〃	平田フサ子	〃		〃	近藤 彰介	〃	
〃	宮崎美佐子	〃					
〃	田中 克幸	〃					
〃	岩崎 正朔	丸亀市地区					
〃	福岡由紀子	〃					
〃	鈴木 勝榮	〃					
〃	明石 正子	坂出市地区					

※評議員任期 平成28年2月14日～平成31年2月13日





■ 平成28年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)	科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)
社資収入	156,718,141	76.1	災害救護事業費	32,352,140	19.8
一般社資収入	126,529,549		救護看護師養成費	3,960,000	2.4
・社費収入	49,505,990		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	23,225,466	14.2
・寄付金等収入	75,023,559		奉仕団活動費	4,031,181	2.5
・指定事業社資収入	2,000,000		青少年赤十字活動費	4,038,339	2.5
法人社資収入	30,188,592		地域(市町)における赤十字活動費	20,246,563	12.4
・指定事業社資収入	2,000,000		赤十字運動普及・社員増強費	14,130,020	8.7
・その他社資収入	28,188,592		医療施設基盤整備交付金	2,814,000	1.7
本社からの事業交付金	3,381,100	1.6	血液事業基盤整備交付金	551,354	0.3
事業準備積立金繰入金収入	10,000	0.0	国際救援活動費及び本社事業費	23,626,197	14.5
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,917,163	2.9	資産管理費	3,131,629	1.9
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	5,538,924	2.7	事業管理運営費	30,982,709	19.0
前年度繰越金(年度当初事業資金)	34,338,874	16.7	歳 出 合 計	163,089,598	100.0
歳 入 合 計	205,904,202	100.0			

歳入歳出差引(翌年度当初事業資金) 42,814,604円

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみ目に目を向け、
常に想像力をもって行動します。



日本赤十字社 香川県支部
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 高松市番町1-10-35
TEL 087・861・4618 FAX 087・862・7010
E-mail : jrckagawa@jrckgw.com
ホームページ : <http://www.jrckgw.com>

日本赤十字社香川県支部

検索

